

退教互会報

一般財団法人 岩手県退職教職員互助会

〒020-0022 盛岡市大通一丁目1-16岩手教育会館4階 ☎019(623)3300(代) ホームページ: <http://iwatetai.webcrow.jp/>
発行・編集責任者 高橋道明



〈平成28年「福島・山形への旅」上杉神社にて〉

目次

一部負担金の割合が変わっていませんか？／	
2019年度地区連絡会	2
全教互加藤専務退任／日本大学学生の視察研修／	
地区会長・事務局長一覧	3
江刺地区活動報告／	4～5
診療報酬請求書送料改定	4
「働く者の健康を考える集い」	5
2019公益文化事業／囲碁大会県予選	6
おくやみ欄	7
満100歳を迎えられた方々／事務局職員交替／	
あとがき	8

思い出の“フォト”

退教互江刺地区会の研修旅行（通称「ごすけ会」）に、「ろ組」の先生方も多く参加され、大変賑やかで楽しく旅の思い出の中でも、特に印象に残る研修旅行でした。

1日目：安達ヶ原→二本松→浄土平→華の湯

2日目：甲斐本家屋敷→雲嶺庵→喜多方→

上杉神社 のコースでした。

みんなで食べた、あの「ソフトクリーム」の美味しかったこと、この上なしでした。

70歳以上の皆さん!! 一部負担金の割合 変わっていませんか?

☆8月からの保険証の更新で 一部負担金の割合が変わっていませんか?

岩手県国保（市町村国保）及び後期高齢者医療にご加入の方々は、毎年8月に保険証の更新が行われます。70歳以上の方々は、所得・収入によって一部負担金の割合が異なるため、前年の所得によって、8月から一部負担金の割合が変わられた方があるかと思えます。新しい高齢受給者証（70～74歳の方）、後期高齢者医療被保険者証（75歳以上の方）の一部負担金の割合を、今一度ご確認ください。

☆一部負担金の割合が変わった方は、新しい高齢受給者証、 後期高齢者医療被保険者証のコピーをご送付ください！

退教互へお届け（保険証のコピー）の一部負担金の割合と、医療機関からの請求書の一部負担金の割合が一致しないと、正しい医療費の支払いに支障をきたします。一部負担金の割合が変わった方で、未だ退教互へ「高齢受給者証」又は「後期高齢者医療被保険者証」のコピーを送っていない方は、コピーのご送付をお願いします。（一部負担金の割合が変わらない方はコピーの送付は必要ありません）
※なお、年度の途中（8月以外の月）でも保険証の更新があり、一部負担金の割合が変わった際には保険証のコピーの送付をお願いします。

☆一部負担金の割合が変わった方は、 診療報酬請求書への記入の仕方が変わります。

※加入健康保険等の区分の○で囲む欄は次のようになります。

高齢受給者証
の一部負担金の割合が
2割の方は → 352に○
3割の方は → 353に○

後期高齢者医療被保険者証
の一部負担金の割合が
1割の方は → 401に○
3割の方は → 403に○

2019年度地区連絡会

本年度の地区連絡会は、6月10日から7月5日まで開催され、総勢1,660名の皆様にご出席いただきました。

地区連絡会を終えて、特に話題になった事項は下記のとおりです。

- 退教互財政の将来の見通し。
- 現職会員拡大に向けての取り組み方。
- 地区連絡会の出席率の低下と役員の高齢化、地区組織の在り方。

今後、財政検証、現職と退職会員に対する給付制度の周知徹底、地区連絡会の参加率向上のための取り組み等、皆様から頂きましたご意見、検討課題について、より良い運営のために努めて参ります。



お疲れ様でした

全国教職員互助団体協議会 専務理事

加藤正好さん 退任へ

退教互の元専務理事で全教互の専務理事を2014年6月から5年にわたり務めておりました加藤正好さんが本年度6月の全教互総会（於郡山市）を最後に退任いたしました。

全国教職員互助制度の運営・発展にご尽力いただき、改めてこれまでのご功勞を称え感謝申し上げます。



日本大学の学生が退教互を視察研修で来盛！

これまで退教互の財政検証を担当してくださっていた河本淳孝さん（元明治安田ライフプランセンター(株)公益法人部長）がこの度、日本大学商学部の教授に就任され、将来を担う商学部の教え子18名に岩手県退教互制度の素晴らしさと他県では見られない医療給付事業等について学ばせたいとの要望があり、8月6日～2日間に渡りゼミ合宿を受け入れ、下記の講義等を行いました。皆さんはしっかり学ばれて帰路に着きました。

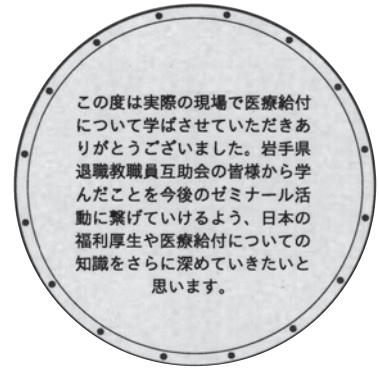
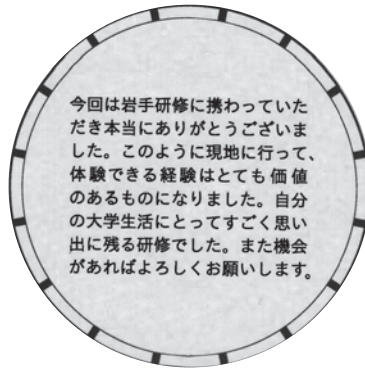
一日目：「退教互の現状と展望」、「教職員の福利厚生と退職医療給付事業」

二日目：「医療給付事業の概要～岩手退教互の会員の場合」、「退教互の成り立ち」、「高額療養費の計算の仕方と療養費請求書の転記体験」



◎合宿終了後に学生さんから

お礼の色紙をいただきましたので、
その一部を紹介します。



2019年度各地区会長・事務局長一覧

地区名	会長名	事務局長名	地区名	会長名	事務局長名
盛岡	谷藤 勇	菊池 哲朗	気仙	佐藤 浩一	三浦 昌弘
岩手	原 敏	多田 馨	釜石	平田 裕彌	菅井 綾人
紫波	佐藤 敏夫	千葉 功一	遠野	佐々木 讓	湊 恵幸
稗貫	小野寺 忠一郎	藤田 俊男	宮古	相田 佳郎	大久保 茂
和賀	佐藤 敏英	千葉 正一	下北	工藤 智榮	佐々木 サタ子
胆沢	越田 日良	高橋 俊一	九戸	入口 昭憲	佐々木 裕毅
江刺	及川 永壽	及川 功一	二戸	横田 裕幸	田頭 一男
西磐井	高橋 三夫	佐藤 軍治	東京	松淵 昂	小田島 洋子
東磐井	佐藤 良	小野寺 廣	仙台	南條 阿由子	大山 清吉

※ 今年度の評議員・理事・監事の一覧については、地区連絡会資料（退職会員向け）、退教互の現況（現職会員向け）に掲載しております。

江刺地区活動報告

活動の拠点だった「江刺教育会館が閉館」となって！

江刺地区会事務局長 及川 功一



永い間お世話になった建物との別れは、誠に物寂しいものだ。様々な思い出がびっしり詰まっている「江刺教育会館」が閉館になって、早5ヵ月。様々な思い出が、脳裏を去来する。この「教育会館」を拠点として同職にあった多くの方々との交流。その中でも、楽しい旅行の思い出が何よりの宝物。江刺の先生方が築き上げて来られた30数年間に渡る、[ごすけ会研修旅行]の足跡に思いを馳せる。その歩みを「旅のしおり」より抜粋してご紹介する。

回	年度	泊数	行き先	回	年度	泊数	行き先
1	昭和59	日帰り	園芸試験場・金ヶ崎温泉	20	平成15	1泊	青森県、津軽の旅
2	60	1泊	三陸海岸	21	16	2泊	北海道、富良野・小樽方面
3	61	1泊	龍飛岬・十和田	22	17	1泊	福島県、母畑温泉・小名浜方面
4	62	1泊	田沢湖・後生掛・八幡平	23	18	2泊	東京(靖国神社)・南房総方面
5	63	1泊	温海温泉 ●「ごすけ誕生」	24	19	1泊	鬼怒川温泉・日光(奥の院)
6	平成1	1泊	常磐ハワイ・阿武隈洞・三春	25	20	2泊	瀬波温泉・穴原温泉方面
7	2	1泊	金華山・大島	26	21	1泊	能代市・不老不死温泉・岩木山スカイライン
8	3	2泊	佐渡・月岡温泉・会津	27	22	2泊	佐渡(フェリー)
9	4	2泊	恐山・仏ヶ浦・八甲田	28	23	1泊	龍飛岬・三沢・十和田
10	5	1泊	康楽館・玉川ダム		24	2泊	(北関東で計画するも参加者不足で中止)
11	6	2泊	奥日光・草津温泉	29	25	1泊	県北沿岸部(久慈・宮古方面)
12	7	1泊	山形県、南陽市赤湯温泉	30	26	1泊	秋田県、男鹿半島・わらび座観劇の旅
13	8	2泊	阿武隈川舟下り	31	27	1泊	山形県、庄内方面への旅
14	9	1泊	男鹿半島 ●「ごすけ会」の歌が誕生	32	28	1泊	福島県、喜多方・裏磐梯方面への旅
15	10	2泊	水戸・大洗・母畑温泉	33	29	1泊	栃木・茨城県、益子温泉の旅
16	11	1泊	山形県、銀山温泉	34	30	1泊	(青森県、鱒ヶ沢方面を計画するも参加者不足で中止)
17	12	2泊	下北・ねぶた祭・山内丸山				
18	13	1泊	蔵王温泉				
19	14	2泊	加賀百万石夢旅行				

診療報酬請求書 送料改定のお知らせ

10月1日からの郵便料金変更に伴い、診療報酬請求書を郵送希望される方の料金が下記のとおりになります。尚、療養費請求書(ピンク色)は今まで通りです。

必要な方
診療報酬請求書が

- ①大きな封筒(角2サイズ)を使用。
 - ②宛先(ご自分の住所・氏名)を記入。
 - ③希望冊数と貼付する切手
 - 1冊ご希望の方は……140円分
 - 2冊ご希望の方は……215円分
 - 3冊ご希望の方は……310円分(変更部分)
- ※1冊は20枚綴りです。

必要な方
療養費請求書が

- ①大きな封筒(角2サイズ)を使用。
 - ②宛先(ご自分の住所・氏名)を記入。
 - ③希望冊数と貼付する切手
 - 1冊ご希望の方は……140円分
 - 2冊ご希望の方は……180円分
- ※1冊は10枚綴りです。

●「ごすけ会」という名称の誕生は→昭和63年の旅行にて、集合時刻のアナウンスあり。

「ごすけ会の皆様、集合の時刻となりましたので、バスへお戻りください……云々」
=なるほど、「互助」は「ごすけ」と読めますね=
『そして平成9年にはすばらしい「ごすけ会の歌」が生まれた』と伺っております。



岩手県退職教職員互助会江刺地区会讃歌
「ごすけ会」の歌
東天紅 作詞／西天紅 作曲
（一九九七年六月発表）

一、小中高の子にまなび
学校つとめに明けくれた
江刺の山河が緑だよ
名は教職員の互助会員
学校やめた そのあとも
はなればなれのままじゃない
江刺のごすけのおれたちは
なんぼか さかしげにふるまおう
みんなが友だち あつまつて
顔を見せあい はげみあう
江刺のごすけは 元気もの
ともにのぼろう 長寿坂



昨年の旅行は、残念ながら参加者が少なく中止せざるを得なかったが、今年度は、新しく会員となった方々も参加できるように9月21日の土曜日を設定。テーマを「ふるさと探訪」と題し、日帰り研修旅行を計画している。原点に返って先ずは、自分たちの住んでいる地域の歴史を、再度学ぼうという趣旨ではあるが、誰もが気軽に参加できるようにとのねらいを含めての企画である。

鬼が笑うかもしれないが、既に、来年の「観桜会」や「気仙沼大島。宮城の明治村と紫陽花の旅」など、提案済みのものもある。なんとかしてこのすばらしい「ごすけ会の歌」を、歌い続けていきたいという願いをこめての提案ですから、お一人でも多くの参加をお願いしたい。

*** *** *** *** *** *** ***

この3月まで、私たちの退教互の拠点であった「江刺教育会館」は閉館となってしまい、いろいろと不便を強いられる「江刺地区会」の運営ではありますが、お陰様で、それぞれの班長さん、副班長さんの力添えをいただきながら、また、あちらこちらの公共施設をお借りしながら進めてきております。このすばらしい「ごすけ会の歌」から、力をいただいて、今後も会の発展のために、みんなで協力し合っ

て進んでいきたいと思っています。

2番の歌詞にあるように
江刺のごすけのおれたちは なんぼか さかしげにふるまおう と。



第37回 働く者の健康を考える集い

- 期 日 2019年9月21日 (土) 10:30~16:00
- 会 場 岩手県公会堂2階21号室
(盛岡市内丸11-2 TEL 019-623-4681)
- 参加費 1,000円
- 主 催 働く者の生命・健康を守る会
(事務局連絡先 TEL 090-4048-8320)

1983年1月、一人の青年教師が自死。
6月の追悼集いに仲間が集いました。その後、遺族・仲間は、公務上認定を求め取り組み、闘いは最高裁まで続きました。公務(労働)災害の認定を求めることは、被災者・遺族の補償、尊厳の回復、そして災害の原因究明は再発防止に繋がります。働く者の生命・健康を守ることは個人の問題ではないと考え、以来36年間集会を続けてきました。——そして第37回を迎えた集い——

2019 公益文化事業

★いしがきミュージックフェスティバル

9月23日(月祝) 開演10:00~19:00

会場 盛岡駅ステージ・おでって前広場

盛岡城 ISHIGAKI ステージ ほか

(全10会場予定)

★第48回岩手教育芸術祭

■岩手県婦人合唱発表会

11月4日(月祝) 開演 13:30

会場 岩手教育会館・多目的ホール

入場料 500円(高校生以下無料)

出演 岩手県内女声コーラスグループ

岩手県婦人合唱連盟加盟団体

■美術展

11月9日(土)~12日(火)

開場 9:00~17:00(最終日15:00終了)

会場 岩手教育会館

1階・2階 特設会場

入場料 無料

■舞台芸術講演会

11月30日(土) 開演 13:30

会場 岩手教育会館 多目的ホール

講師 国井 雅比古(元NHKアナウンサー)

入場料 無料(要入場整理券)

共催 岩手日報社



……美術展作品募集要項……

- 絵 画 (日本画・洋画・版画・水墨画)
50号以内 額装(1人1点)
- デザイン 全紙以内 パネル(1人1点)
- 彫刻・立体 150cm×100cm×100cm以内
重さ50kg以内(1人1点)
- 工 芸 150cm×130cm×50cm以内
重さ50kg以内(1人1点)
- 現代美術 120cm×130cm×50cm以内
重さ20kg以内(1人1点)
- 書道一部 本紙228cm×53cm以内(縦作品)
本紙175cm×70cm以内(縦・横自由)
- 二部 本紙136cm×35cm以内(縦・横自由)
一部、二部とも額装または軸装。ただし、軸装の場合 縦の長さ240cm以内とする。二部は判切以下の半紙や色紙等の小品も可とする。(一部、二部通して、1人1点)
- 写 真 四つ切以上全紙
(額装またはパネル62cm×51.5cmまで)
組写真または連作とする場合は、外寸126cm×84cm以内のパネル等におさめ2点とみなす。デジタル作品は、加工不可。(1人2点以内)

☆いずれも未発表の作品に限る。規格外の作品は審査対象外とする。

☆出品料 無料 ☆応募〆切 10月29日(火)

☆詳細は、下記事務局へ作品募集要項を請求のこと。

岩手教育芸術祭事務局
☎ 019-623-3301 へ。

2019全国教職員囲碁大会岩手県予選

第37回全国教職員囲碁大会(来年1月6日、東京・市ヶ谷の日本棋院会館にて開催、全教互主催)への出場権をかけた岩手県予選を、今年11月6日(水)に岩手教育会館で開催します。

この予選会の勝者は、県代表として派遣されます。

参加資格は、地区大会で選抜された方又は地区から推薦を受けた方となります。

地区大会については、各地区事務局へお問い合わせください。

競技種目=・名人戦(無差別)・段位戦(初段~5段)・級位戦・女流戦



2018 岩手県予選対局風景

■おくりやみ申し上げます<敬称略>

会報89号掲載以降の方々です。退教互から香奠を給付し、ご冥福をお祈り致しました。

【盛岡地区】		
山崎賀寿代	2019年 2月25日	91歳
角掛洋江	2月26日	89歳
長原光児	3月 3日	88歳
浦田敬三	3月 8日	93歳
鈴木良子	3月12日	89歳
中谷藤八重	3月28日	101歳
谷智江子	3月30日	84歳
峯岸卓一	4月 3日	88歳
福士俊朗	4月 4日	91歳
鎌田純	4月 5日	89歳
瀬川弘	4月 8日	91歳
鷹觜正徳	4月14日	90歳
佐藤昭	4月14日	87歳
高橋達	4月20日	92歳
西川友男	4月23日	88歳
藤田貞雄	4月26日	87歳
黒澤公男	4月30日	93歳
三浦恒規	5月11日	71歳
平舘ケイ子	5月15日	79歳
野又妙子	5月19日	92歳
佐藤田二郎	6月 7日	92歳
菅野達雄	7月 3日	82歳
中野子工	7月 4日	91歳
工藤昌一	7月10日	87歳
小島常雄	7月27日	87歳
鎌田久蔵	7月29日	89歳
高橋賢三	8月 2日	92歳
【岩手地区】		
竹田ウメ	2019年 4月29日	90歳
鈴木幸郎	5月17日	94歳
佐藤達也	6月20日	84歳
佐々木榮	7月14日	85歳
長澤義正	8月 8日	83歳
【紫波地区】		
出羽英子	2018年12月 9日	91歳
福山和夫	2019年 3月20日	85歳
女鹿兵衛	4月 3日	92歳
田村晃一	4月15日	83歳
永井美喜子	4月30日	93歳
小嶋久人	5月 7日	91歳
大石誠也	5月18日	91歳
川村トモ	6月 3日	92歳
高橋棟雄	6月24日	79歳
加藤義男	7月15日	86歳
【稗貫地区】		
菅原道雄	2019年 2月 4日	91歳
昆野房子	2月28日	87歳
多田良一	3月14日	99歳
鈴木等	3月25日	90歳
畑山ヨシ	5月 5日	74歳
佐藤孝	5月21日	87歳
高橋和子	5月23日	88歳
佐藤トシ	5月25日	95歳
葛巻章司	5月28日	84歳
藤井倉子	5月31日	86歳
中島イン	6月 9日	100歳
菅原保	6月28日	88歳
阿部キクノ	6月29日	94歳
細矢恵美子	7月 6日	81歳
大原信	7月18日	81歳
遠藤多恵	7月29日	88歳
小岩牧郎	8月 6日	85歳

【和賀地区】		
小笠原節郎	2018年 8月11日	81歳
高橋照男	2019年 2月19日	82歳
金田兌子	3月 5日	86歳
菊地康	4月25日	95歳
高橋ケイ子	4月26日	92歳
三浦サツ子	5月 1日	88歳
鈴木均	5月11日	86歳
菅野直人	5月12日	93歳
小原賢哉	5月21日	92歳
平野千代子	5月22日	92歳
高橋一男	6月10日	78歳
菅トシ子	7月30日	96歳
澤田公雄	7月30日	87歳
【胆沢地区】		
佐々木直人	2019年 2月19日	86歳
松本昭郎	2月26日	90歳
氏家正弘	3月 4日	77歳
佐藤尚二	3月 5日	78歳
安彦和子	3月 9日	90歳
佐藤廣治	3月17日	96歳
大内良三	3月31日	79歳
高橋タカ子	4月 6日	91歳
藤波貞子	4月11日	94歳
大沼ヒサ	5月 9日	89歳
及川博郎	5月 9日	89歳
菊地一夫	5月14日	84歳
小林恵子	5月31日	88歳
阿部正範	7月17日	77歳
福岡多夫	7月25日	86歳
及川收	7月26日	85歳
菊地勇一	8月 6日	85歳
齋藤健	8月 9日	92歳
【江刺地区】		
佐藤榮典	2019年 3月 4日	88歳
高橋昌子	5月14日	71歳
小澤敬	5月15日	96歳
熊谷久	7月 4日	91歳
【西磐井地区】		
南洞頼教	2017年 1月27日	94歳
佐々木公夫	2019年 2月28日	91歳
鈴木汎子	3月28日	88歳
金野武市	4月10日	89歳
渡邊侑子	4月19日	80歳
加藤忠一	4月20日	74歳
二階堂秀	4月24日	95歳
小田眷良	4月27日	79歳
中川進夫	5月21日	84歳
佐藤忠士	6月11日	84歳
吉田英子	6月19日	89歳
菅原幸子	6月19日	69歳
小川泰子	8月 6日	89歳
【東磐井地区】		
太田敏	2019年 2月27日	93歳
伊東市郎	3月22日	86歳
千葉昌二	5月24日	91歳
中澤敏子	5月30日	74歳
須藤敏子	7月17日	93歳
【気仙地区】		
上野一	2019年 4月 7日	89歳
鈴木仁	4月 7日	89歳
大和田イヨ	5月 5日	99歳
大澤和子	5月 9日	83歳

【気仙地区】		
赤坂睦夫	2019年 5月31日	87歳
小笠原フミ	6月14日	91歳
菅野和彦	6月21日	82歳
後藤セツ子	8月 4日	92歳
【釜石地区】		
水戸保弘	2019年 5月24日	65歳
菊池葵	6月16日	82歳
千葉隆男	6月30日	84歳
【遠野地区】		
山田豊次	2018年10月28日	101歳
小原尚二	2019年 3月24日	82歳
後藤正伍	4月13日	86歳
萬裕子	8月 1日	88歳
【宮古地区】		
野崎啓子	2018年10月31日	94歳
竹内ノリ	2019年 2月16日	83歳
伊藤勲	2月25日	90歳
高江柄重信	3月16日	88歳
竹内敏夫	4月12日	86歳
木村圭次	7月 1日	90歳
中嶋光久	7月22日	88歳
伊藤衆子	7月24日	86歳
佐々木福治	8月 1日	90歳
【下北地区】		
田鎖勝弘	2019年6月13日	63歳
【九戸地区】		
宇部トシ	2019年 3月 3日	102歳
菅原良夫	3月17日	86歳
松川良一	3月26日	65歳
石井利彦	4月27日	93歳
坂川ふみ	7月23日	97歳
【二戸地区】		
菅慶治	2019年 3月 9日	83歳
北條トキ	4月17日	85歳
関健三	4月28日	96歳
田口セツ	5月 7日	92歳
吉田健	5月 9日	87歳
今松正明	(福岡高校)	5月23日 48歳
郡司楞岡	7月 4日	86歳
平野トシ	7月 9日	90歳
酒井陽	7月17日	91歳
中村てる	8月11日	97歳
【東京地区】		
千葉明子	2018年12月18日	96歳
小西達男	2019年 1月30日	94歳
遊佐喜八郎	2月13日	92歳
近藤ノブ	3月 3日	98歳
横坂俊一	3月10日	88歳
佐藤昭二	3月11日	91歳
小野寺光雄	3月12日	88歳
川村仙二	4月 8日	91歳
鈴木タカ	4月13日	95歳
長沢智恵	6月18日	98歳
【仙台地区】		
朴澤トモコ	2019年6月14日	96歳
【青森県八戸市】		
佐々木千代	2019年6月25日	89歳
【秋田県秋田市】		
尾形かう	2019年 5月15日	93歳
【京都府八幡市】		
油井敬子	2019年 4月30日	87歳

寿 満100歳!! おめでとうございます。

第88号掲載以降、次の方々も100歳のお誕生を迎えられましたので、ご紹介いたします。



及川ハル子さん
(遠野地区)

1919年5月9日生
1976年3月
長野小学校退職

毎日ラジオを聴き、世の中の出来事を考え、食事も好き嫌いもなく順調です。昔、毎日1時間半歩いての通勤、帰りは空腹で歩けなくなったり、釜石艦砲射撃を受け、男性は兵隊に取られ、戦後は着る物も食べ物もない中、子供たちにせめて味噌汁を食べさせようと苦心し、皆で川へ雑魚を獲って足しにしたり日暮れまで畑仕事をした話をしてくださいました。

退教互便りを読み、昔、仲間と県庁に何度も行き今の制度を作ったことを思い出し、こんな良い会はないのだから、皆で守って欲しいとお願いされて来ました。

遠藤八重子さん
(仙台地区)

1919年5月13日生
1979年3月
大船渡中学校退職

仙台市内の老人施設に入所中。直接お会いすることができなかったのですが、娘さんからご様子を伺うことができました。日常は施設での行事等に参加しながら、穏やかに過ごしてのことです。先日はご家族と一緒に外出して、お花見を楽しんで来られたそうです。食事も順調に済み、お元気な様子です。



伊藤 重臣さん
(東京地区)

1919年6月17日生
1980年3月
城内小学校退職

浜松市内の老人ホームに奥様と一緒に入所中。先日、家族や友人が集まり誕生パーティーを開催したとのこと。

元来、自分で何でも作ったり工夫をしたりすることが好きで、ハサミやキリなどの器具の持ち込みを許可してもらえる施設を見つけることができ、趣味を寛容な態度で認めてもらっていることに感謝しているそうです。

約20年位前にいただいた勲章を誇りに思っていて、自分に万が一の時は、岩手県の地元へ寄贈すると言われた旨を娘さんからお手紙をいただきました。



熊谷 キミさん
(他地区)

1919年7月5日生
1979年3月
下橋中学校退職

滋賀県在住で直接お会いすることができなかったのですが、息子さんにご様子をお伺いしたところ、現在は入院中のご家族がお見舞いに行くと、とても喜び「私、がんばるね」「ありがとう」「うれしい」の言葉とともに逆に見舞客に元気を与えてくれる素晴らしい母親ですとのお手紙をいただきました。



松田 サツさん
(盛岡地区)

1919年7月19日生
1972年3月
北山形小学校退職

盛岡市内の施設に入所中。県内の小・中学校に勤務。背すじを伸ばし、目を見てゆっくりお話しをするお姿に若かりし頃のオーラを感じました。何度か骨折をしたそうですが「退教互」に入っていて本当に助かりましたと感謝されてきました。

先日、ご家族と車で外出されお花見を楽しんできた様子をしっかりと口調でお話しいただきました。現在は、施設の行事等に参加しながら、お元気でお過ごしです。

退教互企画旅行のご案内

教互センターから (株)岩手県北観光へ バトンタッチ

退教互企画旅行の委託提携先であった岩手県教互センター(株)の業務縮小に伴い、新たな委託提携先である(株)岩手県北観光の企画による退教互企画旅行が始まります。別紙パンフレットをご覧くださいたくさんの参加をお待ちいたしております。

尚、10月1日～(株)みちのりトラベル東北へ社名変更します。

職員交替

退教互職員でありました、越場順子、小川総一郎が2019年3月末日を以って退職いたしました。二人とも再雇用期間を無事勤めあげ、長期にわたり皆様にお世話になりましたことを心より感謝申し上げます。

尚、4月より新しい職員を迎えましたので紹介いたします。どうぞよろしくお願いたします。

★佐藤 大翔 (雫石町出身)
担当 療養給付 (医療機関)、前期高齢者管理
趣味 運動全般
特技 バスケットボール
一言 たくさん学び精一杯努力します。

★熊谷 美優 (滝沢市出身)
担当 療養給付 (個人請求)、高額療養費申請
趣味 ピアノを弾くこと
特技 バスケットボール
一言 真面目に精一杯がんばります。

あとがき

ほぼ1ヶ月間、地区連絡会で各地を巡りました。昨年とは違って再会を喜び合う余裕もある自分を感じました。退教互の事業では療養費給付が高く評価されています。連絡会や地区総会の開催に関わる役員の方々のお仕事、地区会員の見守り活動ともなっていて、あらためて退教互の設立理念は相互扶助であり、それが療養費給付と地区会の活動であるとあらためて感じました。(み)